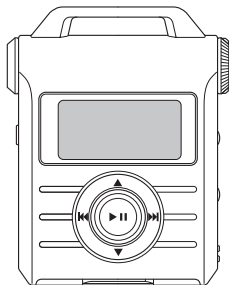
取扱説明書

デジタルミュージックプレーヤー

品番　DMP-M400SD

保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、“いつでも見られる所”に大切に保管してください。
なお、この取扱説明書は“保証書付”になっています。保証書は「お買い上げ日」、「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。

SD™はSDアソシエーションの登録商標です。

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。
お問い合わせの時などに便利です。

品　番	DMP-M400SD
シリアルNo.	
お買い上げ日	年　月　日
お買い上げの販売店名	電話(　　)　―

SDカードは別売です

基本操作ガイドについて

すぐにご使用になりたいかたは、基本操作ガイドをご参照ください。
ただし、この取扱説明書の3ページ「安全上のご注意」と、9ページ「付属品の確認」をはじめに必ずお読みください。

もくじ

はじめに

基本操作

その他

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△ 「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
⃠ 「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

本体について

■ 分解・改造しない

分解禁止

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 運転中は使用しない

禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。 交通事故の原因になります。
また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水場禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますのでボリュームは徐々に上げるようご注意ください。

■ 極端な温度条件のもとでは使用しない

禁止

結露などによる火災や感電の原因になります。
温度が5℃未満、または35℃を超える場所では使用しないでください。
湿気の多い場所で使用しないでください。身に付けている場合は、汗による湿気で故障の原因となることがあります。水ぬれや湿気で故障と判明した場合は、保証の対象外となり無料修理はできません。

■ 置き場所に注意

禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

■ 磁気の発生や影響する場所に近づけない

注意

磁気の発生する近くに本機を置かないでください。 また、本機を磁気カード類とも一緒にしないでください。SDカードの内容が壊れて使用できなくなることがあります。

乾電池について

■ 乾電池は正しく入れる

注意

乾電池を入れるときはプラスとマイナスの向きに注意し、表示通りに入れてください。
間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。

■ 乾電池は充電しない

禁止

乾電池は充電しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

■ ショートさせない

禁止

ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。
乾電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。

■ 長時間入れたままにしない

禁止

長時間（1週間程度）使用しないときは乾電池を取り出しておいてください。
乾電池からの液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。

■ 使用しているときに乾電池を抜かない

禁止

本体を使用しているときには乾電池を抜かないでください。
SDカードが壊れたり、故障の原因になります。

■ 乾電池が液漏れしたとき

注意

液が本体内部に残ることがありますので、当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

■ 本機でSDカードのデータを消去するときは、電池残量の確認をする

注意

本機でSDカードのデータを消去するときは、電池残量表示を確認してください。
消去の途中で電源が切れると、SDカードが壊れる場合があります。

使用中に電池残量表示の目盛りがなくなったら

すぐに使用をやめて新しい乾電池に交換してください。

置き場所について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房機器の近く
- 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)
- 不安定な台の上や場所、振動の多いところ
- 風呂場など、湿気が多いところ
- ほこりが多いところ
- 磁石、スピーカボックス、テレビなど磁気を帯びたものの近く

本機を再生中、近くに設置したビデオやオーディオ機器の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。 万一、このような症状が発生した場合はビデオやオーディオ機器から離してください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。 この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビに近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

著作権について

放送やMD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。お客様がCDからインポートしたり、インターネット上の音楽コンテンツをダウンロードしたものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

必ずお読みください

本機の使用中および落下や衝撃が原因での不具合によるデータ損失の補償については、当社では責任を負いかねます。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても補償については、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

登録商標についての注意

- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Microsoft、Windows Media™および Windows™ ロゴは米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

- Windows Media™ PlayerはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
- SD™はSDアソシエーションの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

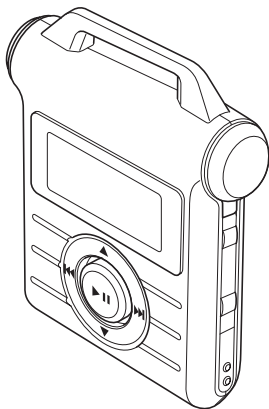
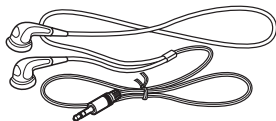
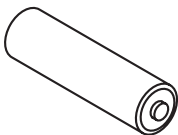
※ 本書は製品開発に先がけて印刷されており、その後性能改善や操作性向上のため製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

付属品の確認

箱から出し、付属品がそろっているか確認してください。

- 本体 1

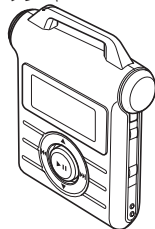
- 単4アルカリ乾電池 1

- 専用USB接続ケーブル 1

- インナーイヤー型
  ステレオヘッドホン 1

- 本書（保証書付）.......................... 1
- かんたん操作ガイド 1

デジタルミュージックプレーヤーとは？

パソコンと接続して、SDカードに記録したデジタル音楽データを手軽に持ち運んで聞くことができる、ポータブル機器です

■Microsoft社の「Windows Media Player」を使って音楽データの転送、再生が可能です。

■デジタル音楽データをパソコンのハードディスクに取り込むには、以下のような方法があります。

- インターネットなどを利用した音楽配信サービス (E M D = Electronic Music Distribution) で音楽をダウンロード。
  本機で使用できるのは、WMA の音楽配信データのみです。
- パソコンの CD-ROM ドライブからハードディスクに音楽 CD をインポート (取り込み)。
  1. Windows Media Player で WMA 方式に圧縮したファイル
  2. 市販ソフトなどで作成した MP3 方式のファイル

ご注意

- お客さまがインポートしたものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合によりインポートやダウンロードができなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合の補償については、ご容赦ください。

主な特長

1 SDカードスロット搭載

●SDカード(別売)は、128MB ～ 2GBまで対応しています。
※対応フォーマットは、FAT12、FAT16、FAT32です。

2 MP3・WMA※対応

●MP3、WMA形式のファイルを再生できます。
●CDから取り込んだ曲ファイルだけでなく、インターネットからダウンロードした曲ファイルも再生できます。
※マイクロソフト社のデジタル著作権管理情報PD-DRMにも対応しています。(DRM10非対応)

3 A-Bリピート機能!

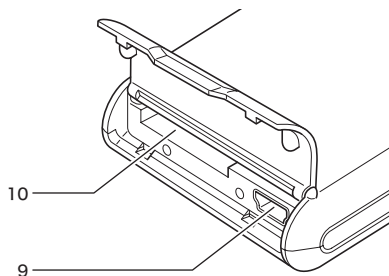
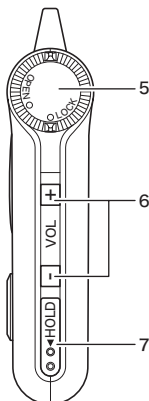
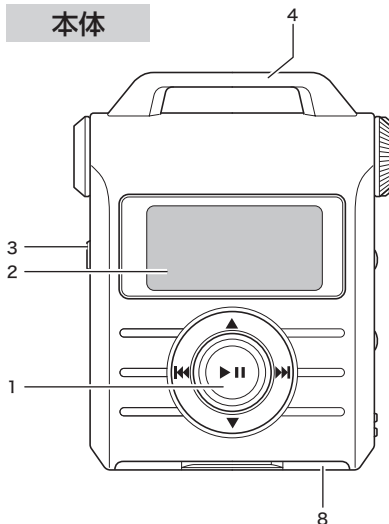
●聞きたい曲の一部を何度でも繰り返し再生できます。

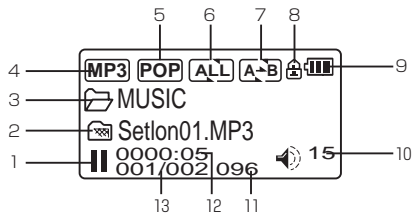
4 データストレージとしてパソコンデータの一時保管用としても使用可能!

●音楽データの保存はもちろんですが、ExcelやWordのデータも一時的に保存することもできます。フロッピーディスクやMOなどの代わりとしてお使いください。

各部のなまえ

くわしくは、(　)内のページをご覧ください

本体

1. ►❚❚(電源/操作)ボタン
   (19・23ページ)
2. 表示パネル(13ページ)
3. ステレオヘッドホン端子
   (15ページ)
4. ストラップ取付
5. 電池ぶた(14ページ)
6. VOLUME+、−ボタン
   (22ページ)
7. HOLDスイッチ(21ページ)
8. SDカードスロットぶた
   (16ページ)
9. USB端子(26ページ)
10. SDカードスロット
   (16ページ)

表示パネル

1. 再生モード
2. ファイル名(曲名・タイトル名など)
3. フォルダ名
4. ファイル形式
5. 音質
6. リピート
7. A-Bリピート
8. ホールド設定
9. 電池残量
10. 音量
11. ビットレート
12. 再生経過時間
13. ファイル番号/ファイル総数

コントラストの調整

表示パネルのコントラストが調整できます。

62ページ「各種メニューの設定-Contrast」参照

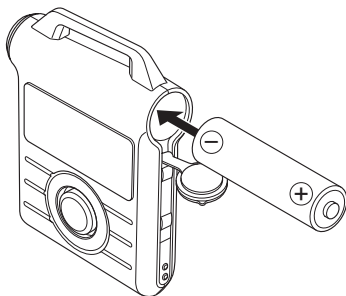
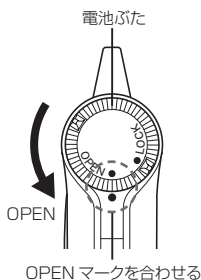
お使いになるまえに

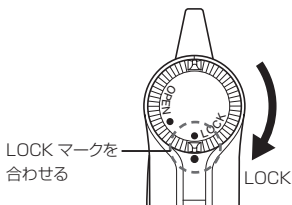
乾電池の入れかた

1 電池ぶたの開けかた/電池の入れかた

電池ぶたを回転させて電池ぶたのOPEN“●”マークと本体の“●”マークを合わせて開けます。

※乾電池の+、−の向きを間違わないように入れてください。

※マンガン電池はご使用にならないでください。

2 電池ぶたの閉めかた

電池ぶたを閉じ、回転させて電池ぶたのLOCK“●”マークと本体の“●”マークを合わせます。

電池残量表示

電池残量は、表示パネルの電池残量表示で確認してください。

電池残量

電池残量表示が を表示したら

正常に動作しない場合がありますので、新しい単4形アルカリ乾電池に交換することをおすすめします。
「Low battery」と表示されたら電池を交換してください。

表示パネルの表示消灯──►電池切れ

ご注意

- 乾電池は、温度が5℃～ 35℃の環境でご使用ください。特に、夏の車内には放置しないでください。
- 使いきった乾電池は各地方自治体の指示（条例）に従って処分してください。
- 再生中、消去中、フォーマット中に乾電池を抜くと、SDカードの内容が壊れますので、必ず電源を切ってから電池を交換してください。
- 付属の乾電池はモニタ用ですので、寿命が短いことがあります。

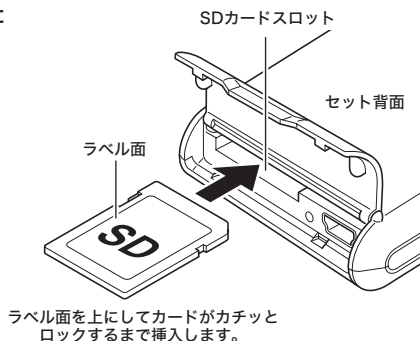
ステレオヘッドホン(付属)を使用する

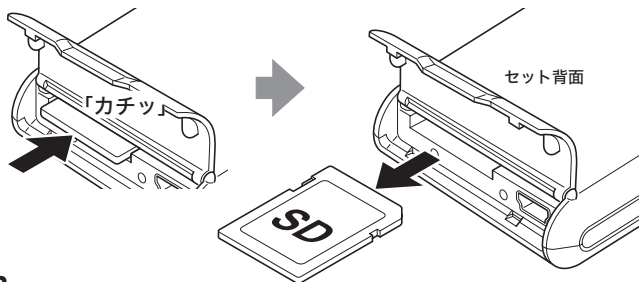
ステレオヘッドホン端子に差し込んでください。
※本機ではMDプレーヤーなどに付属されている、リモコン付きなどの4極プラグ端子のステレオヘッドホンはご使用になれません。

SDカード(市販品)の入れかた/取り出しかた

本機は内蔵メモリを搭載していないため、SDカード（別売）が必要になります。ご使用する前にご準備ください。
（128MB/256MB/512MB/1GB/2GB対応）
ご使用の際は、必ずSDカードに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。

●SDカードの入れかた

ラベル面を上にしてカードがカチッと
ロックするまで挿入します。

●SDカードの取り出しかた

1. ►❚❚(電源/操作)ボタンを2秒以上押して電源を切ります。
2. SDカードスロットのふたを開けます。
3. SDカードを一度中に押し込むと、ロックが外れて取り出せます。

ご注意

- 操作中は、絶対にSDカードを取り出さないでください。
- SDカードの端子には触れないでください。 故障の原因となります。
- 静電気のある場所などにSDカードを置かないでください。
- SDカードは子供の手の届かない場所に保管してください。もし飲み込んでしまった場合は、ただちに医師に相談してください。
- SDカードを初めてお使いになる場合や、SDカードの容量、SDカード内のファイルによっては、読み込みに時間がかかることがありますが故障ではありません。
  また、フォーマットした場合でも同様に時間がかかることがあります。
- SDカードは128MB以上2GB以下の容量をサポートしています。但し、全てのSDカードをサポートしているわけではありませんので、詳細についてはhttp://www.sanyo-audio.com/support/dmp の[外部メモリーカード対応一覧]をご覧ください。（2006年7月現在）
- SDカードは、本体の電源オフの状態で抜き差ししてください。SDカードが認識しない場合は、本体の電源をオフにしてから、いったんSDカードを抜いて再度挿入し直してください。

大切なデータを保護するために

●書込み禁止スイッチを「LOCK」にします。新たにSDカードに記録するときは解除してください。

●本機での操作中にSDカードを抜かないでください。データが破壊されることがあります。

SDカードの取扱上の注意

●無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、静電気を帯びていると、認識されなかったり、本体が誤動作することがあります。大切なデータは別のメディア（MOディスク、ハードディスク、CD-Rなど）へバックアップとしてコピーされることをおすすめします。

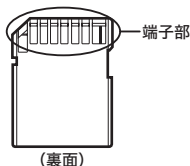
●使用機器から取り出したときは、必ずケースに収納してください。

●分解や改造をしないでください。

●貼られているラベルは、はがさないでください。

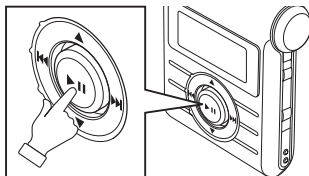
●新たにラベルやシールを貼らないでください。

●金属端子部を手や金属で触らないでください。

（裏面）

操作前準備

電源を入/切にする

►॥(電源/操作)ボタンの中央を2秒以上押す

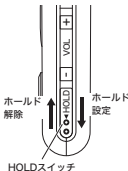
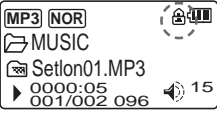
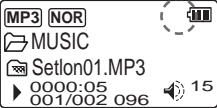
表示パネルのバックライトが点灯し、数秒後に"HELLO!"を表示して電源がオンになります。
電源を切る前に選択していたファイルの再生表示画面を表示します。20ページ｢レジューム機能｣参照。

●バックライトの点灯時間を選択できます。初期設定では「2秒」に設定されています。
62ページ｢各種メニューの設定-Backlight(バックライト)｣参照。

再度►॥(電源/操作)ボタンの中央を2秒以上押すと、"SEE YOU!"を表示し、電源がオフになります。

オートパワーオフ機能

●電源が入った状態で再生をせずに、一定時間放置しておくと、自動的に電源が切れるように設定できます。電源が切れる時間を選択できます。初期設定では「6分」に設定されています。
62ページ「各種メニューの設定-Power」参照。

レジューム機能

電源を切る前に選択していたファイルの停止した位置を記憶するように設定できます。
次に電源を入れたときも同じ位置で停止していますので、同じファイルの続きから再生できます。
●トップメニューを切り換えたり、パソコンに接続するとレジューム機能は解除され、同じファイルの続きから再生することはできません。
61ページ「各種メニューの設定-Resume」参照。

■レジューム表示について

メニュー設定後、►॥(電源/操作)ボタンを⏮側に押して通常画面に戻った場合、最後に設定したメニュー項目を記憶しています。次に►॥(電源/操作)ボタンの中央または⏭側を押したときは前回設定したメニュー項目を表示しますので、同じメニュー項目で設定を簡単に変更することができます。

誤動作を防止する（ホールド機能）

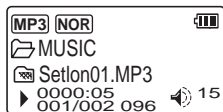
再生中などに誤ってボタンを押し、動作を中断することを防ぎます。

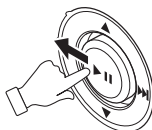
	操作とはたらき	表示パネル
1	**HOLDスイッチを矢印の方向に切り換える** ● ホールド機能がはたらきます。 ● ホールド機能中に、操作ボタンを押すと、"Key Hold"を表示し、各ボタンは機能しません。	MP3 NOR MUSIC Setlon01.MP3 0000:05 001/002 096 15
	HOLDスイッチを矢印の反対方向に切り換える ● ホールド機能を解除します。	MP3 NOR MUSIC Setlon01.MP3 0000:05 001/002 096 15

トップメニュー選択画面表示について

本機でトップメニュー選択画面を表示するには、再生表示画面で►II（電源/操作）ボタンを▲側に2秒以上押します。

（トップメニュー選択画面）

MUSICメニュー設定後、►II(電源/操作)ボタンの|◄◄側を数回押すと、もとの停止（または再生）画面に戻ります。SETUP画面から戻るときは、►II(電源/操作) ボタンの▲側を約2秒間長押しします。

（再生表示画面）

ただし、「Del File」設定時は►II（電源/操作）ボタンの|◄◄側を約2秒間長押しします。

音量を調節する

●＋または－を押すと、下の画面上で音量が調節できます。

●音量レベル00 ～ 32の範囲で調節できます。

●音量レベルは、電源を切っても記憶されます。
　但し、音量レベルが15以上に設定されていた時は電源を入れると自動的に15に設定されます。

►II(電源/操作)ボタンを押す方向とはたらき

押す方向	操作	一時停止／停止中	再生中
(中央)	単押し	再生開始	一時停止
	長押し	電源オフ	電源オフ
(▲ 側)	単押し	ファイル選択画面を表示	ファイル選択画面を表示
	長押し	トップメニュー選択画面を表示	トップメニュー選択画面を表示
(▼ 側)	単押し	ー	ABリピート
	長押し	ー	ー
(►►I 側)	単押し	次の曲の頭へスキップ	次の曲の頭へスキップ
	長押し	連続送り	再生中の曲の早送り
(I◄◄ 側)	単押し	前の曲の頭へスキップ	再生中の曲の頭へスキップ※
	長押し	連続送り	再生中の曲の早戻し

※ただし、再生経過時間が 5 秒未満の場合は、前曲へスキップします。

動作環境の確認

本機の動作環境

本機をパソコンに接続して音楽データを取り込む場合、または Windows Media Player をお使いいただくには、以下のようなパソコン環境や動作環境が必要になります。また、本書で説明するソフトウェアを使用するには、ソフトウェアに合った動作環境が必要です。Windows Media Playerは付属品には含まれていません。入手方法は、Microsoft社のホームページをご覧ください。

■ Windows搭載パソコン ■

NEC PC98-NX以外のNEC PC98シリーズ・Macintoshなど、Windowsを搭載していないパソコンや、自作パソコンでは動作保証いたしませんのでご注意ください。

対応機種IBM	PC/AT互換機
対応OS(日本語版)	Windows XP Professional Windows XP Home Edition Windows 2000 Professional Windows Millennium Edition(Me)
USBポート	本製品接続時に1つ必要
サウンドボード その他	WindowsR互換の16-bitをサポート スピーカーまたはヘッドホンが必要

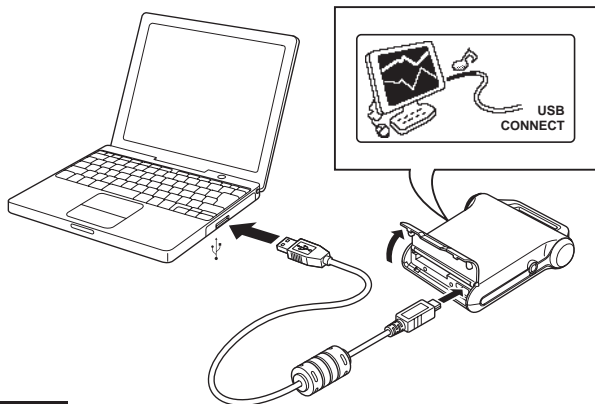
※ 上記は、2006 年 7 月現在の動作環境です。最新の情報に関しては、Microsoft 社にお問い合わせください。

ご注意

- 以下の環境での動作保証はいたしません。
  —Windows 各OSからのアップグレード環境
  —Windows 95、Windows NT、Windows 98/98SE
  —Windows 各OSのデュアルブート環境
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンド※などのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機使用時にはそれらのモードを使用しないでください。
  ※サスペンド：CPU、LCD、HDDなどを停止し、電力消費量を極限まで減らしている状態。スリープと異なり、CPUは停止しているがRAMへの電力供給はされている状態。
- ご使用環境にWindow Media Player 9.0以上（ME,2000）でお使いください。
- DRM10(著作権保護付き)には対応していません。
- Windows XP/2000をお使いの場合
  1. 管理者権限(Administrators)のユーザにてご使用ください。
  2. Windows XP/2000で導入された「ダイナミックディスク」には動作保証していません。
- 音楽CDから入手した音楽データは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

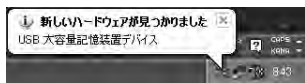
パソコンに接続する

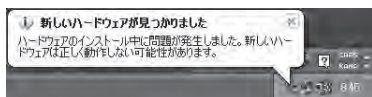
本機をパソコンに接続する

本機のSDカードスロットぶたをあけて、専用USB接続ケーブル（付属）を使用してパソコンのUSBポートに接続します。このとき、USBコネクタの接続方向に注意して接続してください。
※あらかじめSDカード(別売)を挿入しておいてください。
　パソコンとの接続時は、本機に電池を入れなくてもご使用できます。

ご注意

- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合は動作保証いたしません。必ず、付属の専用USB接続ケーブルのみで接続してください。
- パソコンにUSBポートが複数ある場合（前面、背面など）は、USBポートによって正しく認識されないことがあります。その時は、別のポートに本機を接続してください。
- 接続された本機を抜き差しする時は、USBコネクタ部を持って抜き差ししてください。
- Macintoshパソコンは本機には使えません。
- パソコンに接続中は、本機の操作はできません。

はじめて本機をパソコンに接続すると

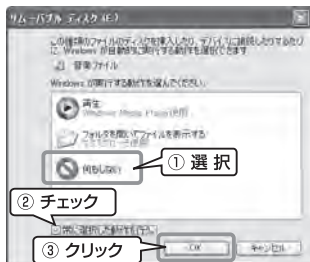
以下のような接続を表すメッセージが複数回表示されます。しばらくしてメッセージが消えるまで本機を取り外さないでください。

（画面は Windows XP です）

本機を接続したときに以下のメッセージを表示した場合は、次ページ「本機をパソコンから取り外す」を参考に本機をパソコンから一度取り外し、再度接続してください。

（画面は Windows XP です）

本機を接続したときにパソコンに何も表示しない場合は、64ページの「本機が正常に認識されているか確かめるには」を確認してください。

Windowsが実行する動作を選ぶ

Windows XPのみ接続後、以下の画面を表示します。

※お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。
Windows 2000/Meに関しては、この操作はありません。

お客さまの使用環境に合わせて設定してください。
本書の例では［何もしない］を選択後、［常に選択した動作を行う。］にチェックし、［OK］をクリックしています。
これで､パソコンとの接続は完了です。
本機をパソコンから取り外すときは､下記の｢本機をパソコンから取り外す｣の作業を必ずおこなってください｡通信表示中は本機をパソコンから抜かないでください。

本機をパソコンから取り外す

本機が通信中の表示になっていないことを確認してから下記の手順にしたがって取り外してください。
OSによって若干画面表示が異なりますが､ご了承ください。
（以降､説明で使用する画面はWindowsXPとなります）

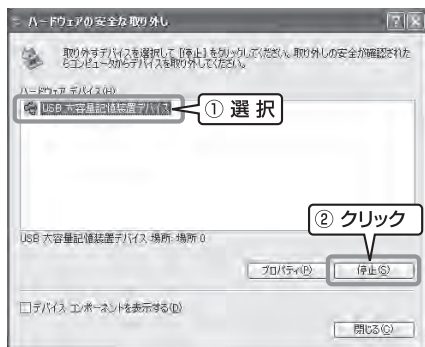
1 [タスクトレイ]のアイコンをクリックする

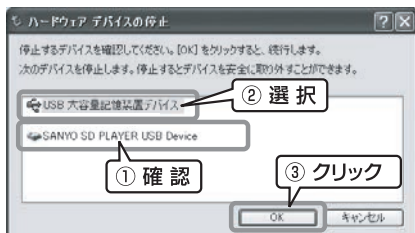
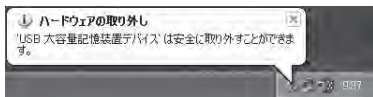
Windows画面右下の[タスクトレイ]のアイコンを右クリックします。

※アイコンが表示されない場合は、Windowsのヘルプを参照してください。

2 表示された「ハードウェアの…」をクリックする

3 デバイスを選択し、[停止]をクリックする

[USB大容量記憶装置デバイス]を選択し、[停止]をクリックします。

停止するデバイスを確認し、[OK]をクリックする

[SANYO SD PLAYER USB Device] が一覧内に表示されていることを確認し、[USB大容量記憶装置デバイス] を選択して、[OK]をクリックします。

本機が取り外し可能な状態になると、以下の画面を表示します(Windows XPのみ)。[×]をクリックするか、しばらくすると画面が消えます。

本機をパソコンから取り外す

パソコンのUSBポートから専用USB接続ケーブル（付属）を取り外し、本機のUSB端子からも専用USB接続ケーブル（付属）を取り外します。

本機が正常に認識されているか確認する

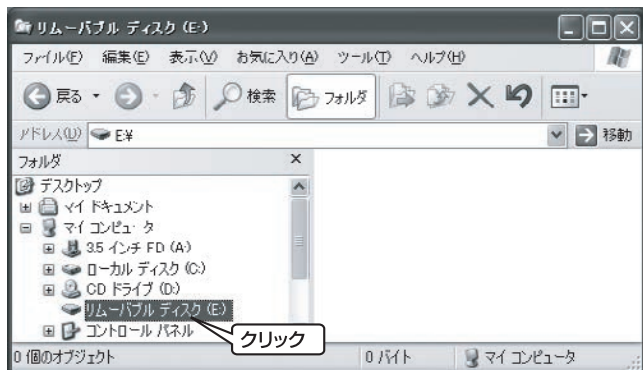
1 エクスプローラを起動する

本書と同じエクスプローラ画面でご使用になる場合は、以下の方法でWindowsのエクスプローラを起動してください。
※OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。
（説明で使用する画面はWindows XPとなります。）

[スタート]メニューから[マイ コンピュータ]、またはディスクトップ上の[マイ コンピュータ]を右クリックして、表示されるメニュー内の[エクスプローラ]を選択してクリックします。

これで、エクスプローラが起動します。

2 リムーバブルディスクのフォルダを表示する

本機をパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラでマイコンピュータ内に、リムーバブルディスクとして表示します。この［リムーバブルディスク］をクリックすると、SDカードに記録した内容を表示することができます。本機が正常に認識されると以下のように表示します。

ちょっとこれを！

- PCへUSB接続をする場合は、本機のみを接続してご使用ください。
- 本機をパソコンに接続したときにリムーバブルディスクを表示しない場合は、64ページ「本機が正常に認識されているか確かめるには」を参照し、確認作業をおこなってください。

デジタルミュージックプレーヤーで音楽を聞くには

本機で音楽を楽しむには、まずパソコンに音楽データを記録し、それを本機に転送する必要があります。

音楽データを記録するには

■音楽CDから作成する
■インターネットなどの音楽配信サービスを利用する※1
の2通りがあります。

本機で再生できる形式は、次の2方式の音楽データです。
■ WMA方式の音楽データ※2
■ MP3方式の音楽データ

※1：音楽配信サービスをご利用いただくときは、そのサービスでサポートされている音楽データ方式が本機で再生できる方式であることを必ず確認してください。AAC方式やその他の記録方式には対応していません。
※2：Windows Media Player9以上のWMAデータに対応します。
一部のWMAデータやMP3データは、本機で再生できない場合があります。

音楽CDから本機で再生可能な音楽データを作成する場合、記録方式（WMAまたはMP3）や使用するソフトウェアによって作成方法が異なりますが、本書ではWindows標準のWindows Media Playerを使用して音楽ファイルを作成し、本機に転送する方法を紹介します。

※本機に音楽ファイルを転送後、本機で音楽を再生するには、42ページ以降の「音楽を楽しむ」をご覧ください。

音楽ファイルを作成する(CDリッピング)

本機で再生可能な音楽ファイル(WMAまたはMP3)を作成する

ご注意

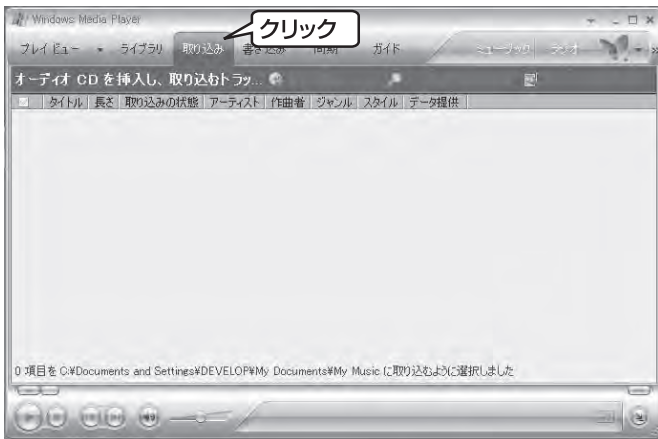
- お客様が作成したMP3・WMA形式ファイルは個人として楽しむ他は著作権上、権利者に無断で使用することができませんのでご注意ください。
- CDから音楽ファイルを取り込み中は、他の操作をしないでください。ノイズ発生の原因となります。

ここでは、Microsoft Windows Media Playerを使って音楽CDの曲をWMA（またはMP3）形式に変換してパソコンに取り込む方法について説明します。
操作の方法について詳しくは、Windows Media Playerのオンラインヘルプをご覧ください。
※OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。
（説明で使用する画面はWindows XP/Windows Media Player 10となります。）
※Windows 2000/Meをお使いで、Windows Media Player9を使用する場合は、当社Webサイトの「基本操作ガイド」をご覧ください。
“http://www.sanyo-audio.com/support/dmp/guide.html”
※音楽情報は、インターネットで入手可能です。インターネットに接続した環境でご使用されることをおすすめします。
内容によっては音楽情報が取得出来ない場合があります。

●Windows Media Playerの入手方法の詳細は
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/
をご覧ください。

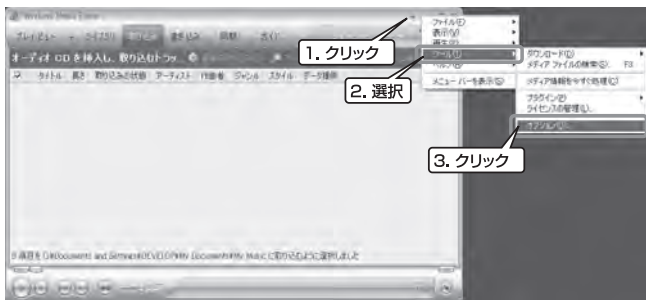
1 Windows Media Playerを起動する

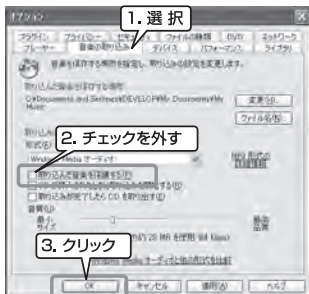
[スタート] メニューから [すべてのプログラム] − [Windows Media Player] を選択して、Windows Media Playerを起動します。

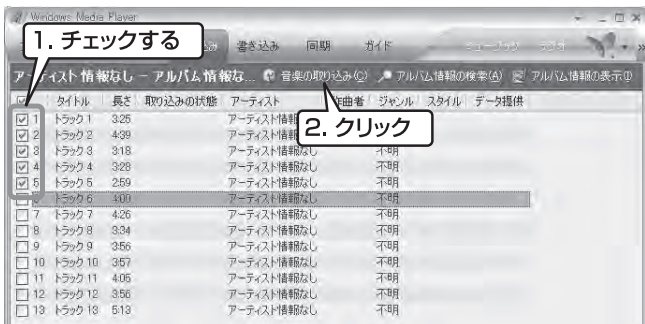
2 [取り込み] をクリックする

3 音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに挿入する

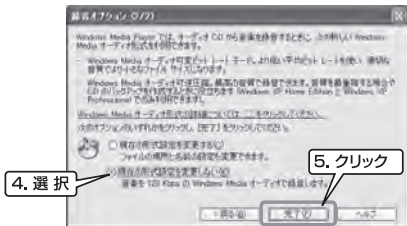
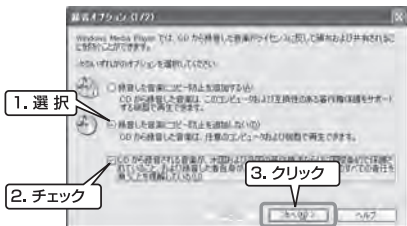
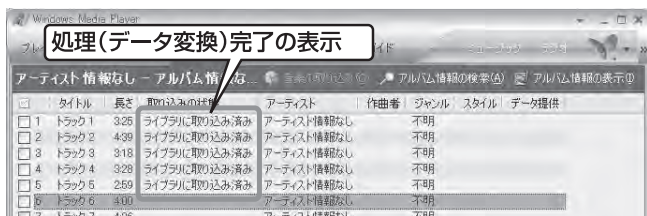
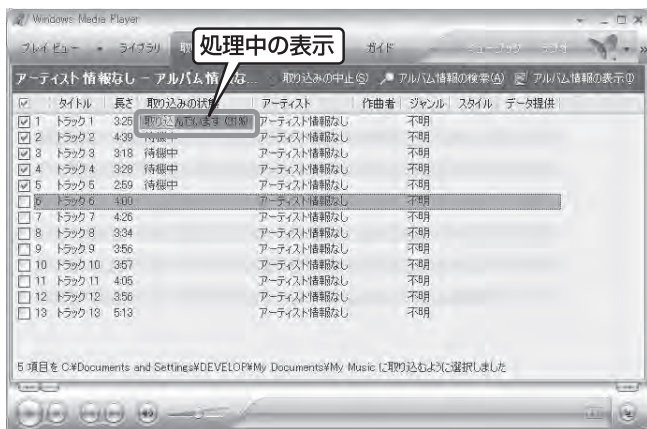
お使いのパソコンがインターネット接続環境にある場合、自動的にインターネットから音楽CDの曲情報を入手して表示します。表示されない場合は [アルバム情報の検索] をクリックしてください。
インターネットに接続していない場合や、CDの種類によっては曲情報を表示しない場合もあります。

[ツール]－[オプション]とクリックする

Windows Media Playerの画面右上にある ▼ ボタンをクリックし、表示されたメニューから[ツール]－[オプション]をクリックし、オプション画面を表示させます。

5 [音楽の取り込み]タブより、[取り込んだ音楽を保護する]のチェックを外す

チェックを外した後、[OK]をクリックしてください。

6 パソコンに取り込みたい曲を選択する

パソコンに取り込みたい曲をチェックして、［音楽の取り込み］をクリックします。

※右記のような画面を表示した場合は、画面通りチェックをつけて［完了］をクリックしてください。

7 取り込み(データ変換)が開始される

選択した曲がすべて［ライブラリに取り込み済み］と表示されたら、CDの内容がWMA（またはMP3）形式に変換されてパソコンに取り込まれます。

Windows Media Playerを使用して取り込まれた音楽データは、初期設定では［マイ ドキュメント］内の［マイ ミュージック］に保存されています。

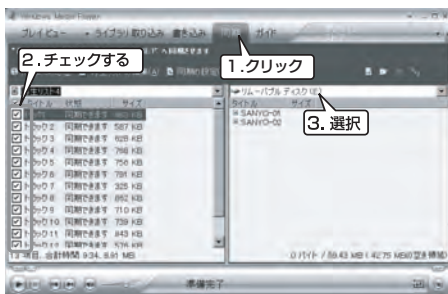
本機に音楽ファイルを転送する

ご注意

- お客様が転送したMP3・WMA形式ファイルは個人として楽しむ他は著作権上、権利者に無断で使用することができませんのでご注意ください。
- デジタル著作権管理(DRM9)　PDDRMについて
  WindowsMediaPlayerで著作権付きで転送したWMAファイルは、デジタルデータの著作権を保護するために複製に制限がかけられていますので、そのSDカードプレイヤーのみでしか再生できません。ご注意ください。また、DRM10コンテンツは対応しておりません。
- 転送方法の詳細は、http://www.sanyo-audio.com/support/dmp/guide.htmlをご覧ください。

1 本機にSDカードを挿入する

2 付属のUSBケーブルでパソコンに接続する

3 Windows　Media Player 10を起動し,同期をクリックする

4 転送したい音楽ファイルを選択する

チェックボックスにチェックが入っている音楽ファイルの転送します。

5 転送先のデバイスを選択する

本機に該当するリムーバルディスクを選択します。

6 「同期を開始」をクリックして、転送を開始する

転送中は「転送しています」と表示されます。
転送が終了すると「デバイスへ同期済み」に変わります。

ご注意

- 転送中は絶対に本機をパソコンから取り外したり、SDカードを抜いたりしないでください。

収録可能な曲数（目安）

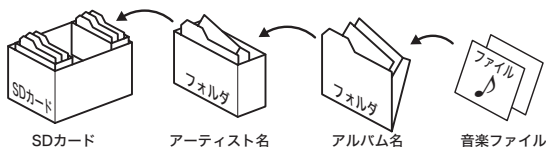
ファイル形式	ビットレート	SDカード(別売)		
		128MB	512MB	2GB
WMA	64kbps	約 60 曲	約 240 曲	約 960 曲
	128kbps	約 30 曲	約 120 曲	約 480 曲
MP3	128kbps	約 30 曲	約 120 曲	約 480 曲

※一曲 4 分で換算した場合の目安。

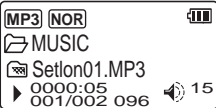
本機データのフォーマットについて

フォーマットをおこなう場合、必ず本機でおこなうようにしてください。パソコンでフォーマットをおこなうと、再生が正常にできない場合があります。
フォーマットするには55ページの「全データを消去する（フォーマットする）」をご覧ください。
パソコンでフォーマットをしてしまった場合は、本機でフォーマットをやり直してください。

本機のフォルダ/ファイルについて

1曲の音楽データを「ファイル」、ファイルを入れておく場所を「フォルダ」と呼びます。SDカードには、音楽ファイルだけを入れたり、お好みのフォルダを作成して、アルバムごとや歌手ごとに音楽ファイルを入れることができます。
フォルダの作成やファイル名の設定は、パソコン側でおこなってください。

SDカード内にフォルダやファイルを入れた場合のイメージ

<table>
<tr><th>階層</th><th>第 1 階層</th><th>第 2 階層</th><th>第 3 階層</th></tr>
<tr><td rowspan="5">ROOT</td><td rowspan="2">フォルダ
（アーティスト名）</td><td rowspan="2">フォルダ
（アルバム名）</td><td>音楽ファイル
（曲名 01.MP3）</td></tr>
<tr><td>音楽ファイル
（曲名 02.MP3）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">フォルダ
（アーティスト名）</td><td>音楽ファイル
（曲名 03.MP3）</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>音楽ファイル
（曲名 04.MP3）</td></tr>
<tr><td>音楽ファイル
（曲名 05.MP3）</td><td></td></tr>
</table>

ご注意

- フォルダの階層は10階層まで動作保証しています。
- ファイル名は、64文字まで表示できます。
- 190フォルダ、1500ファイルまで表示できます。

音楽を楽しむ

音楽ファイル(MP3/WMA形式)を再生する

1 再生する

ファイル（曲名）を選択することで、音楽ファイルを再生できます。

操作とはたらき		表示パネル
	一時停止/停止状態で ►II（電源/操作）ボタンの中央を押す ● 表示パネルに“►”を表示し、再生を開始します。 再生中はファイル番号 / ファイル総数、再生経過時間 / 再生総時間、曲名またはファイル名、ファイル形式、ビットレート、リピートなどの状態を表示します。ただし、可変ビットレートの曲は“VBR”表示します。 ● 長い曲名やファイル名は、スクロール表示します。	MP3 NOR MUSIC Setlon01.MP3 ► 0000:05 15 001/002 096

ご注意

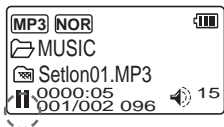
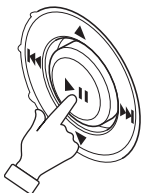
- 容量の大きいファイルは、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。また、ファイル数が極端に多い場合も、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。
- MP3・WMAファイルによっては、再生時間表示と実際の再生時間が異なることがあります。
- MP3・WMA形式のファイルでも、本機で正常に再生できない場合があります。

ちょっとこれを！

- リピート設定で「All Dir」を選択し、「All」を選択した場合は、全ての曲（ファイル）をさしています。
- あまりに多くの曲を入れると動作の低下をまねきます。

再生を途中で一時停止するには

再生中に►❚❚(電源/操作)ボタンの中央を押す

表示パネルに"❚❚"を表示し、再生が一時停止します。

●長い曲名やファイル名は、スクロール表示します。
再度、►❚❚(電源/操作)ボタンの中央を押すと、続きから再生を再開します。

再生を早送り・早戻しするには

再生中に、►❚❚(電源/操作)ボタンを|◄◄または►►|側に2秒以上押し続ける

表示パネルに"◄◄"または"►►"を表示し、現在再生しているファイルを早送り・早戻しします。

■早送り(►►)

ファイルの最後まで早送りすると、早送り中の次のファイルにうつります。

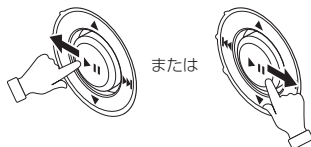
■早戻し(◄◄)

ファイルの先頭まで早戻しすると、早戻し中のファイルの先頭で止まります。

早送り・早戻し再生中、ファイルの音声は出力されません。

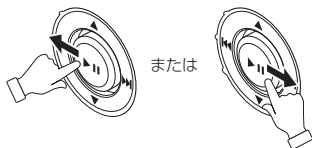
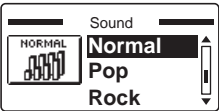
►❚❚(電源/操作)ボタンから指をはなすと、早送り・早戻し再生を解除し、通常再生に戻ります。

ファイル送り・戻しするには

再生または一時停止/停止中に、►❙❙（電源/操作）ボタンの|◄◄または►►|側を押す

連続でファイル送り・戻しをするには、一時停止/停止中に►❙❙（電源/操作）ボタンの|◄◄または►►|側を押し続けます。
一時停止/停止中にファイルを選択した場合は、►❙❙（電源/操作）ボタンの中央を押して再生を開始してください。

- 再生中に►❙❙（電源/操作）ボタンの|◄◄側を押すと、再生中のファイルの頭に戻り再生します。ただし、再生経過時間が5秒未満の場合は一つ前のファイルに戻ります。

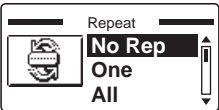
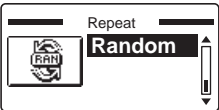
停止するには

一時停止中に、►❙❙（電源/操作）ボタンの|◄◄または►►|側を押す

- 一時停止中の前曲もしくは次曲で停止します。

ファイル(曲名)を選ぶ

	操作とはたらき	表示パネル
1	**一時停止/停止または再生中に►II(電源/操作)ボタンの▲側を単押しする** ● ファイル(曲名)選択画面を表示します。 ● ►II(電源/操作)ボタンの、▲、I◄◄、►►Iまたは▼側を押して希望のファイル(曲名)を選択します。	MUSIC Setlon01.MP3 Setlon02.MP3 (ファイル選択画面)
2	**►II(電源/操作)ボタンの中央を単押しする** ● 希望のファイル(曲名)を選択して、再生表示画面に戻ります。 ● ファイル(曲名)を再生します。	MP3 NOR MUSIC Setlon01.MP3 0000:05 001/002 096 15 (再生表示画面)

お好みの音質で聞くには

音楽ファイルを再生するときに再生する内容に合わせて、お好みの音質で聞くことができます。

	操作とはたらき	表示パネル
1	**一時停止/停止または再生中に►❚❚(電源/操作)ボタンを▲側に長押しする** ● トップメニュー選択画面を表示します。	MUSIC SETUP （トップメニュー選択画面）
2	**「MUSIC」が選択されていることを確認して►❚❚（電源/操作）ボタンの中央または►►❙側を押す** ● 設定メニュー選択画面を表示します。	MUSIC Sound Repeat Control （設定メニュー選択画面）
3	**►❚❚(電源/操作)ボタンの▲または▼側を押して「Sound」を選択する**	

	操作とはたらき	表示パネル
4	**►II（電源/操作）ボタンの中央または►►I側を押す** ● Soundの選択画面を表示します（現在の設定が反転しています）。 ● I◄◄側を押すと前画面に戻ります。	Sound NORMAL **Normal** **Pop** **Rock**
5	**►II(電源/操作)ボタンの▲または▼側を押して希望の音質（Normal、Pop、Rock、Classic、Jazz、)を選択する**	Sound CLASSIC **Classic** **Jazz** （Sound 選択画面）
6	**►II（電源/操作）ボタンの中央を押す** ● 音質が確定し、前画面に戻ります。 ● ►II（電源 / 操作）ボタンのI◄◄側を2回押すと再生画面に戻ります。	

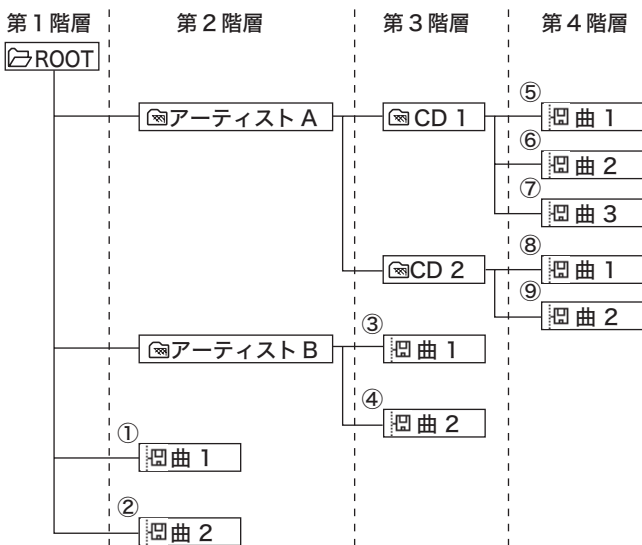
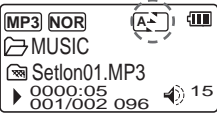
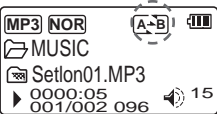
リピート再生について

音楽ファイルを再生するときに、1つのファイルまたはすべてのファイルを繰り返し再生することができます。

	操作とはたらき	表示パネル
1	**停止または再生中に▶II(電源/操作)ボタンの▲側を長押しする** ● トップメニュー選択画面を表示します。	MUSIC SETUP (トップメニュー選択画面)
2	**「MUSIC」が選択されていることを確認して▶II(電源/操作)ボタンの中央または▶▶側を押す** ● 設定メニュー選択画面を表示します。	MUSIC Sound Repeat Control
3	**▶II(電源/操作)ボタンの▲または▼側を押して「Repeat」を選択する**	
4	**▶II(電源/操作)ボタンの中央または▶▶側を押す** ● リピートモードの選択画面を表示します。 ▶II(電源/操作)ボタンの▲または▼側を押して希望のモードを選択します。 60ページ「Repeat(リピート設定)」を参照。	Repeat All Dir One Dir

	操作とはたらき	表示パネル
5	**►II（電源/操作）ボタンの中央または►►側を押す** ● リピートの選択画面を表示します（現在の設定が反転しています）。 「No Rep]... リピートを中止する。 「One」......... 再生中のファイルのみを繰り返し再生する。 「All」............ すべてのファイルを繰り返し再生する。 「Random」 すべてのファイルを順不同に繰り返し再生する。 ● ►II（電源 / 操作）ボタンの▲または▼側を押して希望の設定にします。	Repeat No Rep One All Repeat Random
6	**►II（電源/操作）ボタンの中央を押す** ● 設定が確定し、前画面に戻ります。 ● ►II（電源 / 操作）ボタンの⏮◄側を 3 回押すと再生画面に戻ります。	MP3 NOR ALL MUSIC Setlon01.MP3 0000:05 15 001/002 096 （All Dir 選択時） MP3 NOR ALL MUSIC Setlon01.MP3 0000:05 15 001/002 096 （One Dir 選択時）

リピートモードを「All Dir」に選択した場合の再生順序例

SDカード内のフォルダの階層順に、そのフォルダ内の音楽ファイルを下記のような順序で再生します。

●アーティストBフォルダ内の曲2（④）を再生中に「All Dir」を設定したときは、CD1フォルダ内の曲1（⑤）が次曲となります。

●「All」を選択し、CD2フォルダ内の曲2（⑨）再生後は、Rootフォルダの曲1（①）を再生します。

ご注意

● 音楽ファイルは、SDカードに取りこんだ順番を優先して再生しますので、各フォルダ内の再生順序が多少前後する場合があります。

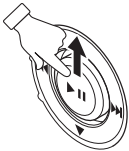
A-Bリピート機能について

A-Bリピート機能を使って、曲の一部を繰り返し再生することができます。

操作とはたらき		表示パネル
1	**再生中に、A-Bリピートで再生したい場所の開始地点で►II（電源/操作）ボタンの▼側を押す** ● A 地点（リピート開始地点）が決定され、画面表示します。	MP3 NOR A- MUSIC Setlon01.MP3 0000:05 15 001/002 096
2	**次に終了地点で►II（電源/操作）ボタンの▼側をもう1度押す** ● B 地点（リピート終了地点）が決定され画面表示されます。これで曲の一定区間（A 地点－B 地点）を繰り返し再生します。 ● A-B リピート再生中に、►II（電源 / 操作）ボタンの ▼ 側を押すと、A-B リピートが解除され通常の再生に戻ります。	MP3 NOR A-B MUSIC Setlon01.MP3 0000:05 15 001/002 096

ご注意

- A地点やB地点の設定後に早送り・早戻しをすると、A-Bリピート設定が解除されます。
- A-Bリピート設定中に、A地点決定後、そのまま再生中のファイルの最後まで到達した場合、A-Bリピートはキャンセルされます。

消去する

「ファイルを消去する」で消去できるのは、本機で再生可能なMP3・WMAファイルのみです。

●他の形式のファイルは消去できません。

●MP3・WMAファイルも再生可能なフォルダに入っていない場合、消去できません。

●読み取り専用ファイルは消去できません。

ご注意

- 消去する時は、乾電池の残量が充分にあることを確認してください。
- ファイルを削除している間に電池を抜いたり、SDカードを抜かないでください。SDカードの内容が壊れる場合があります。
- SDカードをロックしている場合は、ロックを解除してください。
- フォルダの消去はできません。

ファイルを消去する

操作とはたらき		表示パネル
1	**停止または再生中に ►II(電源/操作)ボタンを▲側に長押しする** ● トップメニュー選択画面を表示します。	MUSIC SETUP
2	**►II(電源/操作)ボタンの▲または▼側を押して「SETUP」を選択する**	

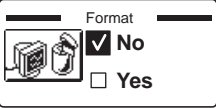
	操作とはたらき	表示パネル
3	**►II（電源/操作）ボタンの中央または►►I側を押す** ● 設定メニュー選択画面を表示します。	
4	**►II（電源/操作）ボタンの▲または▼側を押して「System」を選択する**	Language Display System Inform
5	**►II（電源/操作）ボタンの中央または►►I側を押す** ● 選択画面を表示します（現在の設定が反転しています）。	
6	**►II（電源/操作）ボタンの▲または▼側を押して「Del　File」を選択する**	System Reset Del File Format

操作とはたらき		表示パネル
7	**►❚❚（電源/操作）ボタンの中央または►►❘側を押す** ● フォルダのファイル（曲名）選択画面を表示します。	MUSIC Setlon01.MP3 Setlon02.MP3
8	**►❚❚（電源/操作）ボタンの❘◄◄、►►❘、▲または▼側を押して消去したいファイル（曲名）を選択し、►❚❚（電源/操作）ボタンの►►❘側を長押しする** ● No/Yes の選択画面を表示します。 ● 消去を中止するには、「No」が選択されていることを確認して、►❚❚（電源 / 操作）ボタンの中央を押します。	MUSIC Del File - No Setlon02.MP3
9	**►❚❚（電源/操作）ボタンの❘◄◄または►►❘側を押して「Yes」を選択し、►❚❚（電源/操作）ボタンの中央を押す** ● ファイルが消去されます。続けてファイルを消去する場合は、手順 8 ～ 10 を操作してください。 ● ►❚❚（電源 / 操作）ボタンの ❘◄◄ 側を押すと順番に前の画面に戻ります。	MUSIC Del File - Yes Setlon02.MP3
10	**►❚❚（電源/操作）ボタンの中央を押すと再生表示画面に戻ります。**	MUSIC Setlon01.MP3 Setlon02.MP3

ちょっとこれを！

- ファイル選択画面を表示しているときに、操作7 ～ 8をおこなってもファイルを消去することができます。
- 不用意にファイルを消去することを防ぐためにも、SDカードをロックすることをおすすめします。
  18ページ「大切なデータを保護するために」参照。

全データを消去する（フォーマットする）

SDカード内の内容をすべて消去します。消去する前に必要なデータは、前もって必ずバックアップしてください。

ご注意

- フォーマットするときは、電池レベルが ▮▮ 以上でないとできません。
- SDカードをフォーマット中に電池を抜いたり、SDカードを抜かないでください。SDカードの内容が壊れる場合があります。
- SDカードをロックしている場合は、ロックを解除してください。

操作とはたらき		表示パネル
1	**停止または再生中に►II（電源/操作）ボタンを▲方向に長押しする** ● トップメニュー選択画面を表示します。	MUSIC SETUP
2	**►II（電源/操作）ボタンの▲または▼側を押して「SETUP」を選択する**	

	操作とはたらき	表示パネル
3	**►II（電源/操作）ボタンの中央または►►I側を押す** ● 設定メニュー選択画面を表示します。	Language Display System Inform
4	**►II（電源/操作）ボタンの▲または▼側を押して「System」を選択する**	
5	**►II（電源/操作）ボタンの中央または►►I側を押す** ● 選択画面を表示します（現在の設定が反転しています）。	
6	**►II（電源/操作）ボタンの▲または▼側を押して「Format」を選択する**	System Reset Del File Format

操作とはたらき		表示パネル
7	**►II（電源/操作）ボタンの中央または►►I側を押す** ● No/Yesの選択画面を表示します。 ● フォーマットを中止するには、「No」が選択されていることを確認して、►II（電源 / 操作）ボタンを押します。	
8 	**►II（電源/操作）ボタンの▲または▼側を押して「Yes」を選択し、►II（電源/操作）ボタンの中央を押す** ● フォーマットを実行し、前画面に戻ります。 ● ►II（電源 / 操作）ボタンのI◄◄側を3回押して設定メニュー選択画面に戻ります。	

ちょっとこれを！

- 各操作中に►II(電源/操作)ボタンの▲側を約2秒間長押しすると、再生表示画面に戻ります。
- 不用意に全データを消去することを防ぐためにも、SDカードをロックすることをおすすめします。
  18ページ「大切なデータを保護するために」参照。

各種メニュー設定

共通操作

メニュー設定を変更したり、確認したりすることができます。基本的な操作手順を以下に示します。

1. 停止または再生中に►ıı（電源/操作）ボタンを▲側に長押しします。

● トップメニュー選択画面を表示します。

（トップメニュー選択画面）

2. ►ıı(電源/操作)ボタンの▲または▼側を押して、設定したい項目を選び、►ıı(電源/操作)ボタンの中央または►►ı側を押します。

● 選択した設定メニュー選択画面を表示します。

（設定メニュー選択画面）

3. ►ıı(電源/操作)ボタンの各方向を押して、希望のメニューを設定します。

►ıı（電源 / 操作）ボタンの ▲ または ▼ 側を押して、各メニュー項目を選択します。

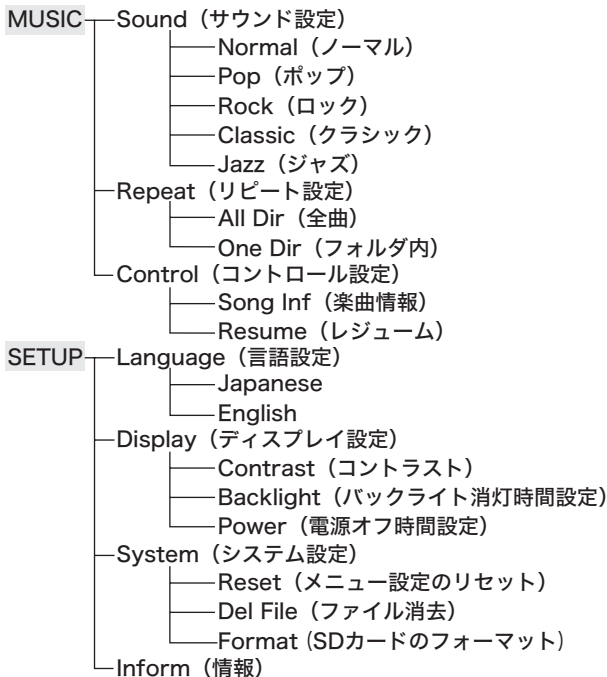
設定中に、►ıı（電源 / 操作）ボタンの ı◄◄ 側を押すと、設定をキャンセルして前画面に戻ります。

各メニュー項目を選択後、►ıı（電源 / 操作）ボタンの中央または►►ı 側を押すと選択したメニューの設定画面を表示します。

各設定を選択後、►ıı（電源 / 操作）ボタンの中央または ►►ı 側を押すと設定を決定し、前画面に戻ります。

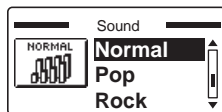
4. MUSICメニュー設定後、►ıı（電源/操作）ボタンのı◄◄側を数回押すと、もとの停止（または再生）画面に戻ります。SETUP画面から戻るときは、►ıı(電源/操作) ボタンの▲側を約2秒間長押しします。ただし、「Del File」設定時は►ıı(電源/操作)ボタンのı◄◄側を約2秒間長押しします。

各種メニュー一覧

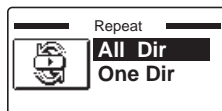
メニュー設定で変更または確認できる内容を次に示します。

MUSICメニュー項目

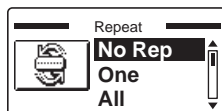
■Sound（音質設定）

音楽に合わせた音質を選択します。

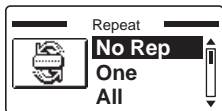
- Normal
- Pop
- Rock
- Classic
- Jazz

■Repeat（リピート設定）

リピートモードを選択します。

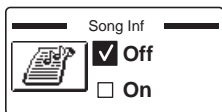
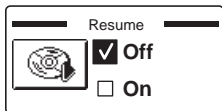
- All Dir ：全曲の中からリピートモードを選択します。
- One Dir：選択中のフォルダの中からリピートモードを選択します。

● All Dirを選択した場合、次の再生モードを選択します。

- No Rep：リピートモードを解除して通常再生します。すべての曲の再生が終わると再生を停止します。
- One ：選択中の1曲を繰り返し再生します。
- All ：全フォルダ内の曲を繰り返し再生します。
- Random：全フォルダ内の曲を順不同に並び替えて繰り返し再生します。

●One Dirを選択した場合、次の再生モードを選択します。

・No Rep：リピートモードを解除して通常再生します。選択しているフォルダ内の最後の曲が終わると再生を停止します。
・One　　：選択中の1曲を繰り返し再生します。
・All　　：現在選択中のフォルダ内のすべての曲を繰り返し再生します。
・Random：現在選択中の曲が含まれるフォルダ内の曲を順不同に並び替えて繰り返し再生します。

■Control(設定)

Control
Song Inf
Resume

・Song Inf：音楽ファイルの曲名、歌手名、アルバム名の音楽情報が表示されます。
・Resume：電源を切る前に選択していたファイルの停止した位置を記憶させておくことができます。

●Song Infを選択した場合
・Off：設定を中止します。
・On：設定を確定します。

●Resumeを選択した場合
・Off：設定を中止します。
・On：設定を確定します。

SETUPメニュー項目

※各メニュー選択画面で表示しているのが初期設定値です。

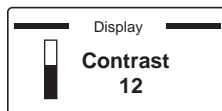
■Language(言語設定)

曲名、歌手名、アルバム名などの音楽情報を、作成された言語に合わせて表示します。
日本語で登録された音楽情報は、言語設定を"Japanese"にします。

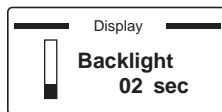
Language
☑ Japanese
☐ English

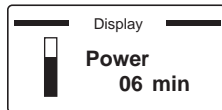
■Display(画面設定)

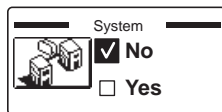
画面設定を▲ボタンと▼ボタンで調整または設定します。

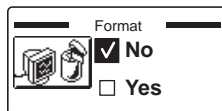
● Contrast：表示パネルのコントラストを調整します。淡(01) ⇔ 濃(24)

ご注意

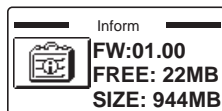
● コントラストを下げるとスクロールした文字が読みにくくなる場合があります。その場合は、コントラストを上げて使用してください。

● Backlight：電源を入れて操作したときに、バックライトの点灯する時間(秒)を設定します。

Off(点灯しない)⇔ 01(1秒) ～ 08(8秒)⇔On(常時点灯)

● Power ：停止 (一時停止) 時に何も操作しないで放置したとき、自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。
01(1分) ～ 09(9分)⇔ On(常時オン)

■System(システム設定)

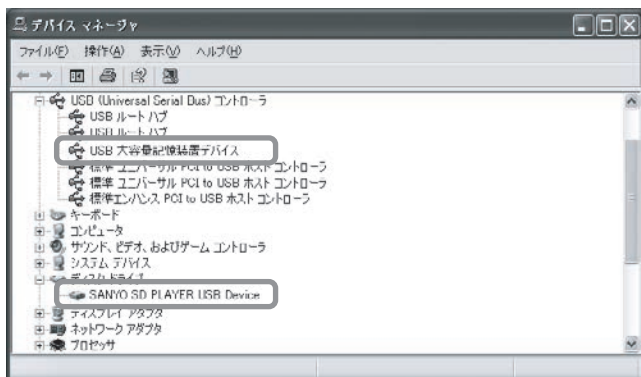
● Reset：設定した各メニュー項目の設定値を初期値(工場出荷時)の設定に戻します。
・ No　：リセットを中止します。
・ Yes　：リセットを実行します。

● Del File：選択中のファイルを消去します。
・ No　：消去を中止します。
・ Yes　：選択中のファイルを消去します。

●Format：SDカードをフォーマット（全データを消去)します。
・No　：フォーマットを中止します。
・Yes　：フォーマットを実行します。

■Inform(情報)

FW（ファームウェアのバージョン）や、FREE (残りの空き容量)、SIZE (SDカードのメモリ総容量)を表示します。

本機が正常に認識されているか確かめるには

本機をパソコンに接続した状態で、以下の確認作業をおこなってください。

デスクトップ上の[マイ コンピュータ]を右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]を選択して[システムのプロパティ]画面を開きます。[ハードウェア]タブ内の[デバイスマネージャ]ボタンをクリックして[デバイスマネージャ]を開きます。

[ディスクドライブ]と[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]を開いて、下図のように表示されていれば、ドライバが正しくインストールされています。

上図のような表示にならない場合、次ページからの「デバイスマネージャで正しく表示されなかったら？」をご覧いただき、お使いのOSにしたがった操作をおこなってください。

デバイスマネージャで正しく表示されなかったら？

※前ページのデバイスマネージャのような表示がでない場合、以下の手順で確認をおこなってください。

1.起動中のアプリケーションはすべて終了させてください。
2.接続されている他のUSB機器（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）はすべて取り外して、本機を単独で接続してください。
3.パソコンにUSBポートが複数ある場合（前面・背面など）は、別のポートに本機を接続する。
4.USBハブ（USB端子分配用周辺機器）を介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してパソコンのUSBポートに直接付属の専用USB接続ケーブルを使用して本機を接続する。

ご注意

- 接続するUSBケーブルは、必ず付属の専用USB接続ケーブルを使用してください。

故障かな？と思うまえに

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。
直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

—どのようなトラブルですか？—

本機が動作しない

原　　因	電池切れである
解決方法	単4形アルカリ乾電池を交換してください。 14ページ「乾電池の入れかた」参照

ボタンを押しても反応しない

原　　因	誤動作防止機能（ホールド機能）が設定されている
解決方法	誤動作防止機能（ホールド機能）を解除してください。 21ページ「誤動作を防止する（ホールド機能）」参照

原　　因	USB接続したままである
解決方法	本機をパソコンから取り外してください。 28ページ「本機をパソコンから取り外す」参照

音声が聞こえない

原　　因	音量が小さい
解決方法	音量を調節してください。 22ページ「音量を調節する」参照

原　　因	ステレオヘッドホンを確実に差し込んでいない
解決方法	ステレオヘッドホンのプラグを奥まで差しこんでください。 15ページ「ステレオヘッドホン(付属)を使用する」参照

音がひずむ

原　　因	ビットレートの低い音楽ファイルを再生している
解決方法	ビットレートを変えて、音楽ファイルを作成してください。

音楽ファイルが再生できない、または正しく再生できない

原　　因	・ 再生できるファイル形式ではない ・ 本機でサポートされていないか有効期限を超えた著作権保護のされている音楽ファイル
解決方法	正常に再生できるファイルをご使用ください。

原　　因	本機で再生できないデータとなっている
解決方法	エンコーダー（MP3･WMA変換）ソフトを別のものに変えてファイルを作成してください。

パソコン接続時に、リムーバブルディスクが表示されない

原　　因	パソコンと本機が正しく接続されていない
解決方法	専用USB接続ケーブルのUSBコネクタが正しく最後まで差し込まれて いるかどうか確認してください。 パソコンと本機が正しく認識しない場合、再度接続してください。 26ページ「本機をパソコンに接続する」参照

原　　因	ネットワークドライブが割り当てられている
解決方法	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター (ドライブ名を表すアルファベット)がぶつかり、リムーバブルディスクが作成されない場合があるので、ネットワークドライブの割り当て を変更してから再度接続してください。 ネットワークドライブの割り当てについてはネットワーク管理者などにお聞きください。

原　　因	パソコンがスリープ状態になっている
解決方法	スリープ状態を解除してください。

原　　因	USBハブを使用してパソコンに接続している
解決方法	付属のUSB接続ケーブルのみで、直接パソコン本体のUSBポートに接続してください。また、パソコン本体に複数のUSBポートがある場合は、別のポートに接続してください。

原　　因	SDカードを挿入していない
解決方法	SDカード(別売)を本機に入れてください。

ファイルが消去できない

原　　因	ファイルの属性が読み取り専用に設定されている
解決方法	本機をパソコンに接続して、ファイルの属性を変更するか、ファイルを消去してください。または、本機でSDカードのフォーマット(初期化)をおこなってください。55ページ「全データを消去する(フォーマットする)」参照

再生が正常に動作しない

原　　因	SDカードが異常である
解決方法	いったん電源を切ってから乾電池を抜き、しばらく放置し、再び乾電池を入れ、電源を入れてください。それでも解決しない場合は、SDカードのフォーマット(初期化)をおこなってください。55ページ「全データを消去する(フォーマットする)」参照

“File Open Error!!”と表示される

原　　因	他の機器でダウンロードしたDRM付き（セキュリティ保護されている）音楽ファイルを再生しようとしている
解決方法	本機で再生できる音楽ファイルを再生してください。

“File Error!!”と表示される

原　　因	音楽ファイル以外のファイルや壊れたファイルを再生しようとしている
解決方法	本機で再生できる音楽ファイルを再生してください。

“Write Protection!!!”と表示される

原　　因	ロックされたSDカードのファイルを消去もしくはフォーマットしようとしている
解決方法	SDカードのロックを解除してから、各操作をおこなってください。18ページ「大切なデータを保護するために」参照

その他のよくあるご質問ならびにソフトウエアのバージョンアップ情報については、当社ホームページのサポートページ “http://www.sanyo-audio.com/support/dmp/”にて随時更新しています。そちらも併せてご覧ください。

お手入れについて

お手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

主な仕様

対応メディア	: SD memory card128MB-2GB
対応OS	: Windows XP/2000/ME
再生フォーマット	: MP3(MPEG 1 LAYER3、MPEG2 LAYER3、MPEG2.5 LAYER3)WMA(PD-DRM9)
再生対応ビットレート	: 8-320kpps(MP3) 32-192kpps(WMA)
再生周波数	: 20-20,000Hz
サンプリング周波数	: 16-44.1kHz
S/N比	: 90dB
定格出力(ヘッドホン)	: 10mW + 10mW(16Ω負荷時、JEITA/DC)
入出力端子	: MINI USB ／ステレオヘッドホン端子(3.5φミニ)
使用温度範囲	: +5℃～ +35℃
電源	: 単4アルカリ乾電池×1本
電池持続時間	: 約12時間
外形寸法	: 約55×69×15mm
質量	: 約29g(本体のみ)
付属品	: 説明書、かんたん操作ガイド、専用USBケーブル、ステレオヘッドホン、単4アルカリ乾電池

保証書とアフターサービス

保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の66ページからをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店か、または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。
お問い合わせの際、本体背面に貼ってあるシリアルNo.のラベルをご確認して、シリアルNo.をお知らせください。

保証期間中の修理は

保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間経過後の修理は
修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間について

デジタルミュージックプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

お客さまご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。
総合相談窓口：　家電製品についての全般的なご相談
修理相談窓口：　修理サービスについてのご相談

総合相談窓口（全般的なご相談）　三洋電機(株) お客さまセンター

相談受付時間　9:00 ～ 18:30 (365日)
☎ 050-3116-3434

※上記番号をご利用になれない場合は
大阪 (06)6994-9570 におかけください。

※郵便・FAXでご相談される場合
三洋電機(株)　お客さまセンター
FAX　(06)6994-9510
〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2-5-5

修理相談窓口（修理サービスについてのご相談） 三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間　月曜日～金曜日 [9:00 ～ 18:30]
土曜・日曜・祝日[9:00 ～ 17:30]

東コールセンター

地区	拠点	電話番号
関東・甲信越地区	東　京 福　島 新　潟 長　野	050-3116-2222 東京(03)5302-3401
北海道地区	札　幌	050-3116-2333
東北地区	宮　城	050-3116-2444

西コールセンター

地区	拠点	電話番号
近畿・北陸・四国地区	大　阪 金　沢 高　松	050-3116-2555 大阪(06)4250-8400
中部地区	名古屋	050-3116-2666
中国地区	広　島	050-3116-2777
九州地区	福　岡	050-3116-2888

地区	拠点	電話番号
沖縄地区※	沖　縄	098-944-5018

※受付時間：月曜日～土曜日9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30
（祝日および当社休日を除く）

「持ち込み修理および部品」についてのご相談は、各地区サービスセンターで承っております。
受付時間：　月曜日～土曜日（祝日を除く）　[9:00 ～ 17:30]

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理致します。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示はおこないません。

＜利用目的＞

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機（株）および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ
http://www.sanyo.co.jp をご覧ください。

北海道地区			
札幌	(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
函館	(0138)48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
苫小牧	(0144)57-8707	〒059-1364	苫小牧市沼ノ端230-1034
旭川	(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北三条7-3-3
北見	(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
釧路	(0154)22-1576	〒085-0035	釧路市共栄大通3-1-6青木ビル

東北地区			
仙台	(022)287-8351	〒984-0032	仙台市若林区荒井字丑ノ頭43-1
青森	(017)729-3401	〒030-0141	青森県青森市大字上野字山辺29-5
八戸	(0178)28-9225	〒039-1121	青森県八戸市卸センター 1-6-7
盛岡	(019)623-1600	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-12-1
水沢	(0197)23-6621	〒023-0003	奥州市水沢区佐倉河字羽黒田45
山形	(023)641-1769	〒990-2331	山形県山形市飯田西4-5-35
酒田	(0234)23-3817	〒998-0842	山形県酒田市亀ヶ崎6-7-16
秋田	(018)862-6551	〒011-0901	秋田県秋田市寺内イサノ93-1
郡山	(024)945-6793	〒963-0107	福島県郡山市安積3-120

関東・甲信越地区

さいたま	(048)778-3095	〒362-0025	埼玉県上尾市上尾下780-1
坂　　戸	(049)284-8900	〒350-0214	埼玉県坂戸市千代田5-3-17
栃　　木	(028)614-3883	〒321-0111	栃木県宇都宮市川田町字免ノ内765-5
茨　　城	(0298)64-4751	〒300-3261	茨城県つくば市花畑2-15-3
水　　戸	(029)251-4125	〒311-4152	茨城県水戸市河和田3-2386-1
群　　馬	(0270)40-7611	〒372-0003	群馬県伊勢崎市華蔵寺町87-1
新　　潟	(025)285-2431	〒950-0942	新潟県新潟市小張木2-16-43
長　　岡	(0258)46-8065	〒940-2127	新潟県長岡市新産2-9-4
上　　越	(025)543-3535	〒942-0081	新潟県上越市五智 1-11-8 斉藤オフィス
城　　東	(03)5697-8160	〒120-0005	東京都足立区綾瀬7-22-15 綾瀬7丁目ビル
城　　北	(03)5914-3413	〒174-0051	東京都板橋区小豆沢1-23-10
城　　西	(03)5347-0761	〒167-0032	東京都杉並区天沼3-12-12 テック杉並
武 蔵 野	(042)364-7721	〒183-0033	東京都府中市分梅町5-9-1
戸　　塚	(045)827-2831	〒224-0806	神奈川県横浜市戸塚区上品濃9-14
相 模 原	(042)788-2760	〒194-0012	東京都町田市金森851-3
平　　塚	(0463)55-3926	〒254-0014	神奈川県平塚市四之宮3-20-60
京　　浜	(044)740-3530	〒211-0041	神奈川県川崎市中原区下小田中5-11-21
千　　葉	(043)208-3800	〒260-0842	千葉県千葉市中央区南町3-7-15
鎌 ケ 谷	(047)441-0111	〒273-0105	千葉県鎌ケ谷市鎌ケ谷7-6-59
山　　梨	(055)226-2561	〒400-0035	山梨県甲府市飯田4-8-23

中　部　地　区

名古屋	(052)979-3455	〒461-0025	愛知県名古屋市東区徳川1-901 サンエース徳川ビル1F
名古屋西	(052)485-3620	〒453-0816	愛知県名古屋市中村区京田町2-1
岡崎	(0564)23-3418	〒444-0860	愛知県岡崎市明大寺本町1-20
岐阜	(058)246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
静岡	(054)236-0691	〒422-8034	静岡市駿河区高松2-26-10
沼津	(055)935-0501	〒410-0822	静岡県沼津市下香貫七面1152-2
浜松	(053)461-8685	〒430-0812	静岡県浜松市本郷町123
松本	(0263)40-3411	〒390-0852	長野県松本市島立1064-1
長野	(026)299-9501	〒388-8006	長野県長野市篠ノ井御幣川字東松島 1000-2
金沢	(076)292-2060	〒921-8005	石川県金沢市間明町2-100
富山	(076)422-7020	〒939-8211	富山県富山市二口町1-13-8
福井	(0776)53-7134	〒910-0834	福井県福井市丸山1-1002
三重	(059)236-5195	〒514-0111	三重県津市一身田平野285-2

近　畿　地　区

大阪	(06)6992-6235	〒570-0086	大阪府守口市竹町4-13
大阪南	(06)6761-4600	〒543-0001	大阪府大阪市天王寺区上本町 5-1-14三洋ビル2F
大阪東	(0729)65-1811	〒578-0903	大阪府東大阪市今米2-3-29
阪和	(072)221-8571	〒590-0026	大阪府堺市堺区向陵西町2-1-24
京都	(075)645-1434	〒612-8427	京都市伏見区竹田真幡木町26-1
三丹	(0773)24-3405	〒620-0062	京都府福知山市和久市町290番地 和久市岩掘ビル2F
奈良	(0744)22-7888	〒634-0817	奈良県橿原市寺田町113-1
滋賀	(077)514-2221	〒524-0021	滋賀県守山市吉身4-1-24 南井産業第3ビルB棟
和歌山	(073)473-7112	〒640-8301	和歌山県和歌山市岩橋1636-1
田辺	(0739)22-7520	〒646-0051	和歌山県田辺市稲成町南江原318
神戸	(078)641-1251	〒653-0038	兵庫県神戸市長田区若松町2-1-9 ピアザビル3F
阪神	(06)6432-3401	〒661-0026	兵庫県尼崎市水堂町4-17-6
姫路	(0792)82-7892	〒670-0943	兵庫県姫路市市之郷町1-9
淡路	(0799)42-6015	〒656-0478	兵庫県南あわじ市市福永536-1

中　国　地　区

広　　島	(082)293-6511	〒733-0012	広島県広島市西区中広町2-1-2
福　　山	(084)954-4101	〒721-0952	広島県福山市曙町4-22-10
岡　　山	(086)245-1634	〒700-0973	岡山県岡山市下中野703-101
津　　山	(0868)22-6133	〒708-0002	岡山県津山市上河原239-10
鳥　　取	(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取県鳥取市南吉方3-107
浜　　田	(0855)22-7883	〒697-0023	島根県浜田市長沢町3049
松　　江	(0852)23-1183	〒690-0044	島根県松江市浜乃木2-15-3
山　　口	(083)973-3391	〒754-0024	山口県山口市小郡若草町2-6

四　国　地　区

四　　国	(0896)23-3416	〒799-0404	四国中央市三島宮川2-732-4
愛　　媛	(089)979-3486	〒799-2655	愛媛県松山市馬木町274番地
香　　川	(087)843-1840	〒761-0101	香川県高松市春日町片田1657-1
高　　知	(088)831-2570	〒780-8007	高知県高知市仲田町6-12
徳　　島	(088)699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町笹木野字 八北開拓189-1

九　州　地　区

福　　岡	(092)928-3414	〒818-8534	福岡県筑紫野市紫6-1-1
北 九 州	(093)521-5286	〒802-0004	福岡県北九州市小倉北区鍛冶町2-4-7
中 九 州	(0942)37-3934	〒830-0038	福岡県久留米市西町105-18
長　　崎	(095)813-3545	〒851-0101	長崎県長崎市古賀町1006-5
佐 世 保	(0956)31-7635	〒857-1162	長崎県佐世保市卸本町17-1
熊　　本	(096)388-3434	〒861-8045	熊本県熊本市小山3-2-11 熊本トラックターミナル内
八　　代	(0965)35-3483	〒866-0871	熊本県八代市田中東町12-7
大　　分	(097)543-3454	〒870-0829	大分県大分市椎迫5-6組
宮　　崎	(0985)29-3441	〒880-0022	宮崎県宮崎市大橋3-224
鹿 児 島	(099)251-4615	〒890-0068	鹿児島県鹿児島市東郡元町11-10

沖　縄　地　区

沖　　縄	(098)944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株)　サービス部

(240306I)

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭以外に使用された場合の故障または損傷。
   ホ. 本書の提示がない場合。
   ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客様の負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客さまご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。　Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

- 保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間について詳しくは「保証書とアフターサービス」をご覧ください。

三洋電機株式会社
パーソナルエレクトロニクスグループ
DIカンパニー　国内販売担当
〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号
DMP-M400SDユーザーサポートホームページアドレス
http://www.sanyo-audio.com/support/dmp/

(JP0)　86311-400-060